

2024年度後期 課題協学科目

未来の学びを考える

【未来の医工学を考える③】

九州大学 基幹教育院 岡本 剛

(フューチャー・デザイン・コンソーシアム代表)

©岡本 剛 2024 未来の医工学を考える

本資料はクリエイティブ・コモンズ・ライセンス表示-継承 4.0 国際 (CC BY-SA 4.0) に従って利用が可能です。

<https://creativecommons.org/licenses/by-sa/4.0/deed.ja>



連絡事項

授業資料はMoodleからも閲覧できます

13:00~13:10

提出物

㊦ 毎週（第1～3週）出すもの

- 活動報告【全員】→Moodleの課題「活動報告」
- 宿題【全員】→Moodleのフォーラム「班活動の記録と宿題」
- ホワイトボードシートの写真【記録係・第3週はなし】
→Moodleのフォーラム「班活動の記録と宿題」

㊦ 最終週（第4週）に出すもの

- スコアシート（活動報告を含む）【全員】
 - 発表資料【班の代表】・・・未提出だと班員全員に悪影響
- ✓ グループワークは重要ですが、班の成果物やスコアシートの評価がそのまま個人の成績になるわけではありません。
 - ✓ 成績には、授業態度、個人の提出物、班の提出物が反映されます。

第1週(プレゼント・デザインとパスト・デザイン)

- ① 現在の医工学の実態を調べ共有しよう(医工学の実態調査)
 - ② 現在世代としてこれからの医工学を考えよう(プレゼント・デザイン)
 - ③ 過去を振り返ろう(パスト・デザインの準備)
 - ④ 過去世代へのアクション(パスト・デザインの実施)
- 宿題:フューチャー・デザインのための「想像の練習」

第2週(フューチャー・デザイン)

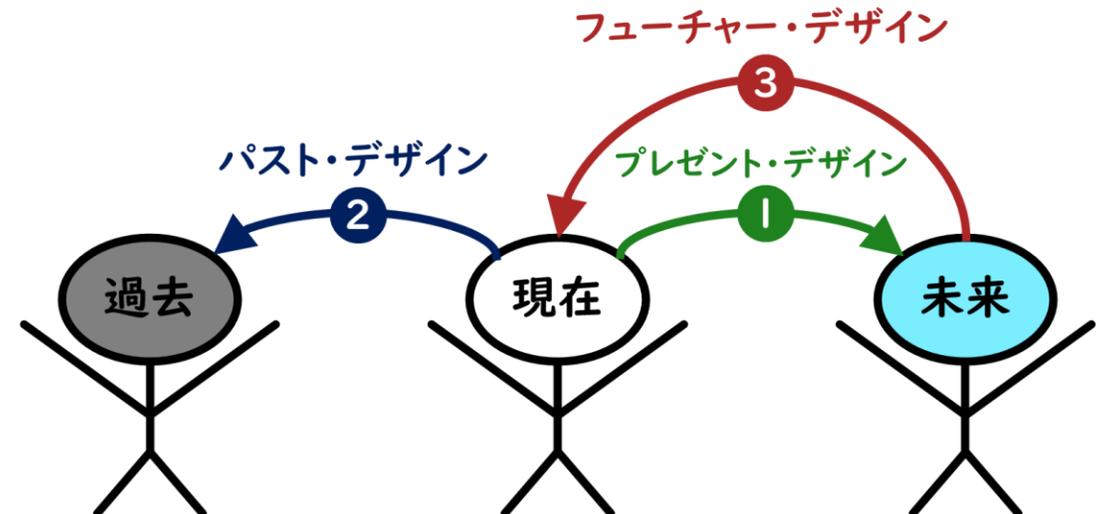
- ⑤ 仮想的にタイムスリップして、50年後の「未来人」になりきる(フューチャー・デザイン1)
- ⑥ 未来人として、「未来の医工学」の理想的な姿を想像する(フューチャー・デザイン2)
- ⑦ 未来人から現在人に対して、「未来の医工学を実現する」または「未来の医工学を軌道修正する」ために今すべきことを提案する(フューチャー・デザイン3)
- ⑧ 提案の効果予想と現実的な評価をし、必要に応じて提案内容を修正する(フューチャー・デザイン4)

第3週(提言書の作成)

- ⑨ 「未来の医工学を実現する」または「未来の医工学を軌道修正する」ために今すべきこと、予想される効果と懸念点をスライドにまとめる。

第4週(提言書の発表)

- ⑩ 全ての班が提言書をプレゼンし、スコアシートに記入して学生同士で評価する。
- ⑪ プレゼント・デザインとフューチャー・デザインで思考がどのように変わったかをふりかえり、フューチャー・デザイン思考の効果について検討する。



次回の発表スケジュール

- 13:00-13:10 諸連絡
- 13:10-13:30 最終打合せ・リハーサル
- 13:30-14:30 発表(1~5班)と審査
- 14:50-15:50 発表(6~10班)と審査
- 15:50-16:20 資料提出・活動報告

審査について

審査のポイント（以下の項目についてそれぞれ0～5点で採点）

- 説得力：メッセージが具体的で、未来からの視点として納得感がどの程度あるか。
- 独創性：解決策や視点がどれだけ新しいか。未来人としてどれだけユニークな視点か。
- 共感性：メッセージを送られた「現在人」として、どれだけ共感でき、受け入れられるか。
- プレゼン：資料の質、準備、わかりやすさ、質疑応答の的確さ

㊦ 審査のやり方（発表班以外の学生全員）

- スコアシートに採点・メモをして発表後に提出

㊦ 発表後の審査コメントと質問

- 審査担当班の担当者のみがコメントと質問をする
- 岡本とTAがすべての発表の最後に全体にコメントをする

質疑応答で困ったときの常套句

㊦ 「いい質問ですね〜！」

- 質問者を褒めて、答えを考える時間を稼ぐ。
- 学会等でこれを発する時は、大抵発表者が冷や汗をかいている。

㊦ 「素晴らしいご指摘ありがとうございます。 ぜひ前向きに検討させていただきます。」

- 良い提案をもらったときは、素直に取り入れる意思を伝える。
- ただ、全部取り入れてしまうと、自分たちの不十分さを露呈することになる。

㊦ 「正確な数字を覚えて(調べて)いないので・・・」 「担当者と確認して後で回答させていただきます」

- 苦し紛れな返答ですが、何も言えないよりはマシ。

班活動

(分担決めと資料作成)

13:10~16:05

今日やること

1. 今日の役割分担の決定
2. 来週の発表の役割分担の決定
3. 発表資料作成（発表7分＋質疑応答3分）
 - Office365を使うとパワーポイントの共同編集が可能（九大の場合）
 - 他のツールを使っても可
4. 完成したらリハーサル（収録しても可）
5. 想定質問を考え、質疑応答を乗り切ろう

今日の役割分担の決定

- 話し合う場面では、**ファシリ (加点対象)** が進行
 - リーダー以外の班員の意見もしっかり拾ってください。**時間管理をしっかりと!!**
- 作業する場面では、**リーダー (加点対象)** が指示・決断
 - **フォーラムに自班のトピックを作成し、今日と来週の役割分担を書こう**
 - リーダーシップは重要ですが、一方的になりすぎないようにみんなの意見を聞きながら進めましょう
- 発表資料は、**発表資料責任者 (加点対象)** が**責任をもって完成させ、Moodleフォーラムに提出**
- その他の人は**作業を頑張る係**として貢献しましょう
- 全体発表はありません

来週の発表の役割分担の決定

① 発表（全員でも可）

② 発表補助（何名でも可）

③ 感想を言ってから質問する人（1～2名）

- スコアシートは全員がつけますが、「感想を言ってから質問する人」には班を代表して発表後に**感想（審査コメント）**を言ってから**質問**をしてもらいます。
- 1～5班が発表 → 班番号+5の班の担当者が、発表後に感想と質問
- 6～10班が発表 → 班番号-5の班の担当者が、発表後に感想と質問

審査のポイント（以下の項目についてそれぞれ0～5点で採点）

- 説得力：メッセージが具体的で、未来からの視点として納得感がどの程度あるか。
- 独創性：解決策や視点がどれだけ新しいか。未来人としてどれだけユニークな視点か。
- 共感性：メッセージを送られた「現在人」として、どれだけ共感でき、受け入れられるか。
- プレゼン：資料の質、準備、わかりやすさ、質疑応答の的確さ

共同編集のツール

おすすめ!

① Office 365でPowerPointが共同編集できます

- 授業時には共同編集のマニュアル参照先を記載しています
- 「プレゼン 共同作業」で検索

② Google スライド

③ その他ツール

資料作成について注意すべき点

- まずは**キャッチーかつ内容を的確に表現するタイトル**を考えよう
- 考えているより**大きめのフォント**を使い、長い文章は入れない
- 話す内容のメモは、「**ノート**」の部分に書いておこう
(スマホにセリフをメモしておいて、当日見ながら話してもOK)
- **イラストや図などを多用**すると見やすい (**出典明記**)
- 生成AIにイラストを描かせても良いが、**文章を書かせるのは禁止!!**
- 余裕があれば、「**付録**」の資料を作っておくと良い
- 迷ったときはリーダーに相談!! **リーダーが決断!!**
- **発表資料責任者は責任をもって完成させMoodleに提出!!**

発表資料作成（発表7分＋質疑応答3分）

「未来人を経験した自分たちからの提言書」をスライド10枚程度（以下1.～6.を含めること）にまとめる（動画にして当日動画を再生しても良いが、質問には直接答えること）

1. 表紙：内容を的確に表すキャッチーなタイトル／班の番号／メンバー氏名（全不参加の人は除く）
2. テーマ説明：医工学に関して注目したトピックは何か
3. 未来人になって見てきた世界：2074年の人々の暮らしと上記トピックの未来実態
4. 提言：「未来人を経験した自分たち」から「未来人を経験していない現在の人々」へ伝えたいこと
 - ・ 2074年の何を実現したいのか or 2074年の何をなかったことにしたいのか
 - ・ そのために、2024年の誰（個人、病院、研究機関、自治体、厚生労働省、政府・・・）に何をリクエスト（継続 or 廃止 or 新設）するのか
 - ・ ここでは理想的な提言を考えよう
5. 自己評価：現在の人々の視点から提言を評価
 - ・ (A) そのまま受け入れ可能 or (B) 修正すれば受け入れ可能 or (C) 現実的には受け入れ不可
6. (B)や(C)の場合、提言を修正して現実的な着地点を探ろう

16:10までに完成！ 事例や根拠資料は説得力を上げる。他人の著作物等は必ず出典を明記すること。

完成したら想定質問を考え、リハーサルをしよう

- ① 想定質問を考えておくことはとても重要
- ① 本番と同じように7分計って発表練習
 - 練習の量は如実に発表に出ます
 - ±30秒を目指そう
- ① 質疑応答の練習もしておこう

休憩は上限20分で適宜取ってください

休憩を取る人は教室の外に出てください

以下は減点対象です。

- 教室の中で遊んでいる
- 教室の中で寝ている
- 20分を過ぎて帰ってこない

発表資料作成（発表7分＋質疑応答3分）

「未来人を経験した自分たちからの提言書」をスライド10枚程度（以下1.～6.を含めること）にまとめる
（動画にして当日動画を再生しても良いが、質問には直接答えること）

1. 表紙：内容を的確に表すキャッチーなタイトル／班の番号／メンバー氏名（全不参加の人は除く）
2. テーマ説明：医工学に関して注目したトピックは何か
3. 未来人になって見てきた世界：2074年の人々の暮らしと上記トピックの未来実態
4. 提言：「未来人を経験した自分たち」から「未来人を経験していない現在の人々」へ伝えたいこと
 - 2074年の何を実現したいのか or 2074年の何をなかったことにしたいのか
 - そのために、2024年の誰（個人、病院、研究機関、自治体、厚生労働省、政府・・・）に何をリクエスト（継続 or 廃止 or 新設）するのか
 - ここでは理想的な提言を考えよう
5. 自己評価：現在の人々の視点から提言を評価
 - (A) そのまま受け入れ可能 or (B) 修正すれば受け入れ可能 or (C) 現実的には受け入れ不可
6. (B)や(C)の場合、提言を修正して現実的な着地点を探ろう

16:10までに完成！ 事例や根拠資料は説得力を上げる。他人の著作物等は必ず出典を明記すること。

次回の予告と宿題 活動報告、後片付け

16:10~16:20

来週の予告と宿題の内容

- 13:00-13:10 諸連絡
- 13:10-13:30 最終打合せ・リハーサル
- 13:30-14:30 発表(1~5班)と審査
- 14:50-15:50 発表(6~10班)と審査
- 15:50-16:20 資料提出・活動報告

宿題1(フォーラム提出):

想定質問を考えて、資料を集めたり、回答例を作ったりする

宿題2:

資料が完成していない場合は協力して完成させる

活動報告

1. 班の番号と自分が担当した役割（例：3班 作業を頑張る係）
2. 来週の自分の役割（例：発表）
3. 資料作成で自分が一番頑張った点
4. 進捗状況（資料は何割程度作れたか）
5. 共同作業をしてうまく行ったことと、うまく行かなかったこと

**締め切り：次の授業の開始まで
（締め切りは延長しません）**

やるべきことが終わったら
後片付けをして帰りましょう
良いお年を...